

2022年度 第3回町田市指定管理者管理運営状況評価委員会 議事要旨

開催日時：2022年10月24日（月）13：00～15：35

開催場所：町田市庁舎2階 会議室2-2

出席者：（委員長）前田 成東（委員）神山 和美、加藤 暢一、小林 大祐

傍聴者：0名

説明者：産業政策課3名、公園緑地課4名

事務局：総務課3名

1 開会

事務局から検証を行う施設や本委員会の進め方等について説明した。

2 「原町田一丁目駐車場グループ」評価結果検証

（1）所管課説明

所管課である産業政策課担当者から、「原町田一丁目駐車場グループ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

（2）ヒアリング

前田委員長）ヒアリングに入る前に、1点確認したい。資料「指定管理者導入経過概要」において、第1期から第4期までの公募の際の応募団体数が不明となっているのはなぜか。

市担当者）第4期までの資料が、所管課の手元に残っていないためである。

前田委員長）20年も30年も前の資料であるならともかく、指定管理者制度を導入した2006年度以降の資料である。少なくとも第4期については、2015年度と最近のものであり、資料がないというのは妥当ではない。

市担当者）書類を取り寄せてまでは調べていないということである。選考時の書類を取り寄せて確認したい。

神山委員）評価表の「5. サービスの質に関する評価」の所管課所見では、「利用者からクレーム等のご意見はなかった」とある。一方で、「6. 業務履行状況の確認」の要望対応では、「要望や苦情には適切な対応がなされ、迅速な報告がなされていた」とある。この内容の整合性について、確認したい。

市担当者）「5. サービスの質に関する評価」の所管課所見の内容としては、大きなトラブルや対応が長引くようなご意見はなかった、という意味である。例えば、指定管理者あてにあったご意見としては、ゴミが捨てられているのが気になった等、それ程大きくはない内容のものがあつた。これらは、定例会において、指定管理者から市へ報告がなされていたため、「6. 業務履行状況の確認」の要望対応では、適切な対応がなされていたと記載している。

神山委員) それ以外の苦情はあったか確認したい。

市担当者) 市の対応が必要となるような苦情はなかった。

神山委員) 「6. 業務履行状況の確認」の要望対応にある表現の方が、妥当と感じる。

神山委員) 添付資料の「アンケート集計結果」において、その他駐車場に関する要望に「思いやりゾーンの不正利用」と記載があるが、指定管理者が不正利用しているということではなく、利用者が不正利用しているという認識でよいか。

市担当者) そのとおりである。施設利用者から、利用者の不正利用について、取り締まってほしいとのご意見をいただいている。

神山委員) 所管課としては、利用者の不正利用の状況を把握しているのか。

市担当者) 思いやりゾーンに停車している車が、必ずしもそのスペースを必要としている方の車なのか、例えば車いすのマークが貼られていなければならぬとまでは考えていない。不正利用者がいると感じている利用者がいる、という認識に留まっている。

小林委員) 添付資料の「労働条件チェックシート」の②③の項目のチェック記録に、「個人情報の関係で提出ができないため、提出があったフォーマットで確認した」とある。個人情報の関係で提出できないとは、どういう意味か。

市担当者) 個人情報の関係で市へ提出することは難しいので、現地で閲覧して確認したという意味である。

小林委員) 「提出があったフォーマット」とはどのような意味か。

市担当者) 現地で、賃金台帳に記載された賃金額を確認し、問題がないことを確認している。白紙のフォーマット様式を提出していただき確認したわけではない。

小林委員) チェック記録の欄には、賃金台帳を閲覧して確認したと記載した方が良い。フォーマットのみ確認し、内容を確認していないように見えてしまう。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の情報公開・個人情報保護について、履行状況に「適切な保護対策がとられていることを現地で確認」とある。具体的に何を確認したのかわからないため、内容を確認したい。

市担当者) 事務所にあるものについて、他人の目に触れないような保管方法をとっていることを現地で確認したということである。

小林委員) 具体的にはどのようなことか。個人情報に関わるものを鍵付きキャビネットで保管していたということか。

市担当者) 基本的に現地に個人情報はないが、情報の取扱いについて、書類は鍵付きキャビネットで保管する、適宜書類を伏せる等の対応をしていたということである。

小林委員) 要求水準との対応関係は、どのように見たらよいか。

市担当者) 要求水準は、法人全体の取扱いとして、個人情報を適切に管理することとし

ている。

小林委員) 要求水準と対応するように、履行状況の欄には、法人規定の遵守について記載した方がよいと感じる。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の危機管理について、履行状況に「適切な保険に加入していることを、事業計画書で確認」とある。事業計画書はあくまでも計画であり、保険加入の事実を確認したことにはならないので、保険証書等で確認した方がよいのではないか。

市担当者) 法人グループ全体で保険に加入する提案を受けており、初年度はヒアリングで確認しており、次年度以降は引き続き加入していることを最新の事業計画書で確認している。保険証書では確認していないので、書面で確認していきたい。

小林委員) 見せてもらえるのであれば、保険証書で確認した方がよい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」の(1) 公の施設に係る収支について、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたためか収支差額が約-1,000万円、2021年度は収束しつつあるのか約-85万円となっており収入額は増加している。(2) 指定管理者本部の経常利益率についても、2020年度は2.4%、2021年度は7.5%と増加している。しかし一方で、負債比率については、2020年度の約164%から、2021年度の400%超えへと、急激に増加している。この理由について、負債が増えたのか、自己資本が減ったのか、分析はしているか。さらには、負債が増えた理由であろう短期借入金150億が前期はどのくらいの額だったのか、前期2020年度の負債の金額や財務諸表を確認し、何が増えたのか等の分析はしているか。

市担当者) 分析していない。また、タイムズ24株式会社本社の個別具体的な財務状況は確認していない。本社の財務管理の判断に任せている状況である。

加藤委員) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛により、様々な業種に影響が及んでいるところである。今すぐこの会社が倒産するということはないと思うが、負債比率が急増した理由を分析し、運営に問題がないか、指定管理者として事業継続できるのか、状況を確認した方がよい。

加藤委員) 「6. 業務履行状況の確認」の維持管理に「建物・設備の適正な維持管理」とあるが、委員会前に施設を見学した際に、当施設は老朽化していると感じた。公の施設は市の資産であるが、施設の維持管理に関する情報は、適切に市に伝わっているか。

市担当者) 月一回の定例会において定期点検の報告を受けており、不具合に対応している。すぐに修繕が必要なものがある場合は、随時連絡をもらっている。

加藤委員) 指定管理業務とは少し外れるが、当施設は40年以上経過しており、長寿命化が難しい施設であると感じる。市の施設には、必ず個別施設計画があると思うので、市として施設管理の検討をしてほしい。

前田委員長) 「5. サービスの質に関する評価」の指標2と指標3について、評価基準と目標の関係を確認したい。それぞれ、目標値を下回ってもA評価となる設定の仕方であるが、所管課はどう考えているか。

市担当者) 目標値は指定管理者の提案に基づき設定しているものであるが、前期までの稼働実績に対し、提案内容が非常に高いものだったと認識している。一方の評価基準は、前期までの稼働実績から市が設定しているものである。結果としては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響で、利用実績が伸びなかったため、当初のままの評価基準としている。

前田委員長) 添付資料の「利用者アンケート調査結果」の回答者属性の住まいの設問において、町田市より相模原市の利用者が多いという結果がある。相模原市民が便益を受けているということであるが、相模原市に何らかの負担をいただいているのか。

市担当者) 相模原市に負担をいただいているわけではない。当施設はあくまでも市営の駐車場であり、JR町田駅南口から町田駅中心市街へ車で来訪される方の最初の受け皿として設置している施設と考えている。

前田委員長) 相模原市民が便益を受けることについて、市議会から質問等はあったか。

市担当者) 少なくともここ数年ではない。

前田委員長) 類似の事例では、駅前の駐車場や公営地下鉄等で、設置した自治体とは別の自治体の住民の利用者が多いため、設置側の自治体が負担金を受けるなどの仕組みをつくっていることがある。このような検討がないということは、現状において特段問題はないという理解でよいか。

市担当者) 当施設は、現在の営業状況が黒字であることもあり、負担金について議論となったことはない。今後検討する際には、参考としたい。

前田委員長) 設置目的は、中心市街地の活性化に寄与することである。他市の方であっても来訪していただければ町田の中心市街地の経済が活性化するという意味で、目的は達成しているということも成り立つと感じる。

市担当者) 「利用者アンケート調査結果」の駐車場の利用目的では、買い物の他、通勤目的で利用されている方もいる。働く環境整備という観点でも、町田市の経済活性化に寄与していると考えている。

前田委員長) 添付資料の「収支決算書」にある利用者還元は、2021年度実績は0円とある。今まで、この利用者還元が0円ではなかったときは、どのような還元をしていたのか確認したい。

市担当者) 2020年度の利用者還元も0円となっている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で自主事業等が実施できなかったため、利用者還元の費用が捻出できなかったものと認識している。利用者還元策については具体的に把握していないが、タイムズ24株式会社の独自サービスで、ポイントカードの還元機器等を設置する提案をいただいていたので、その費用だったと考えている。詳細について、確認する。

<確認結果>

利用者還元事業について、指定管理者に確認したところ、2022年度にポイントカードによる利用者還元機器等の設置を実施する予定で、その費用を計上している、とのことでした。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、「5. サービスの質に関する評価」の所管課所見と、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況において、利用者からのクレーム対応についての記載が一致していないため、「6. 業務履行状況の確認」に合わせて記載した方がよいとの意見があった。

小林委員からは、「労働条件モニタリングチェックシート」の賃金台帳の確認について、記載方法をわかりやすくした方がよいとの意見があった。2点目に、「6. 業務履行状況の確認」の個人情報保護の対策の履行状況について、具体的な記載をした方がよいとの意見があった。3点目に、危機管理の各種保険への加入については、事業計画書のみ確認ではなく、保険証書等書類で確認をした方がよいとの意見があった。

加藤委員からは、「7. 財務・収支状況の確認」の(2)指定管理者本部の負債比率が大幅に増加しているため、その要因を確認した方がよいとの意見があった。

私からは、「5. サービスの質に関する評価」の指標2と指標3について、評価基準と目標値の関係について、精査するようお願いする。

3 「文化交流センター」評価結果検証

(1) 所管課説明

所管課である産業政策課担当者から、「文化交流センター」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「5. サービスの質に関する評価」の利用者アンケート調査概要を見ると、調査期間が1年間であるにも関わらず回収率は半分強である。また、添付資料の「利用者アンケート調査チェックリスト」を見ると、目標回収率を60%としている点でも低いと感じる。所管課と指定管理者とで、利

利用者アンケート調査の回収率を高める検討を行っているのか確認したい。

2点目として、添付資料の「利用者アンケート調査様式」では、選択肢を5段階評価としており「普通」がある。町田市の利用者アンケートの手引きでは4段階評価を基本としているが、5段階評価とした考えを教えてください。

3点目として、「6. 業務履行状況の確認」の要望対応の履行状況に「トラブル発生後の改善提案について、直後の定例会で確認」とあるが、どのようなトラブルが発生したか教えてください。

市担当者) 1点目の利用者アンケートの回収率については、対面で回収したいが、新型コロナウイルス感染症の感染対策として声かけを控え気味としたと聞いている。新型コロナウイルス感染症の収束後、積極的に声をかけて対応してほしいとお願いしているところである。

2点目の利用者アンケートについては、指定管理者であるまちづくり公社が管理している他の施設と揃えて作っているためだと思う。改めて「普通」の選択肢を設定している意図を確認したい。

<確認結果>

利用者アンケートの書式に「普通」を設けていることについて、指定管理者に確認したところ、特別な意図はない、とのことでした。2023年度から「普通」の欄を削除し、アンケートを実施致します。

3点目のトラブルについては、施設運営に関わるようなトラブルはなかったと認識している。例えば、エアコンの温度調整が出来なくて不便である等の利用者の声はあった。直接市に寄せられたご意見としては、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とするキャンセルにキャンセル料がかかることがあった。これについては市が対応すべきものなので、市で対応した。

神山委員) 1点目の利用者アンケートの回収率については、WEB実施等、引き続き回収率を上げる方法を検討していただきたい。

3点目については、要求水準で想定されているトラブルと履行状況で記載しているトラブルについて、事象の捉え方や記載の規模感が一致していないように感じるので、状況を精査してから記載した方がよい。

小林委員) 添付資料の「労働条件チェックシート」の④⑤の出勤簿のチェックについて、「指定管理業務に従事する2名のパート職員について確認した」とあるが、なぜ2名なのか、2名は抽出したものなのか確認したい。他に契約社員等はいらぬのか。

市担当者) 当施設に専従している従業員2名という意味である。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の地域貢献について、「周辺地元団体への参加

や、中心市街地で行われるイベント開催を通じた地域活動をヒアリングで確認」とあるが、イベントを開催したのか、参加したのか、何か地域活動をしたのか確認したい。

市担当者) 文化交流センターの指定管理者として、センターを活用したイベントは実施していない。指定管理者であるまちづくり公社は、中心市街地の活動を担っている団体であり、地域活動へ貢献している多種多様な活動をしているので、このような記載とした。今後の文化交流センターのイベントとしては、ワークショップの実施を検討している。

小林委員) この評価表は、指定管理者としての管理状況を記載するものであり、まちづくり公社としての活動内容を記載するものではないので、注意してほしい。

小林委員) 先程の「原町田一丁目駐車場グループ」と同様、「6. 業務履行状況の確認」の危機管理の確認について、適切な保険に加入していることの確認は保険証書等で行っていただきたい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」で、2020年度はコロナ禍で収入が大きく減少し、収支差額は大幅赤字となったが、2021年度は収入が増加しており、収支差額は未だ赤字ではあるが改善している。財政状態については、財務安定性のバランスが比較的とれていると認められる。2020年度の方が新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと思うが、2020年度の収支はどのくらいであったのか。

市担当者) 2020年度の収支の方が赤字となっており、-2,225万円であった。

加藤委員) 確かに添付資料の「収支決算書」を見ると、2020年度と比較し改善してはいる。近年における新型コロナ等社会、経済情勢の変化が著しく、業務及び財政状態が想定外の変動を示す可能性があるため、今後も引き続き指定管理者に対する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要である。

加藤委員) 添付資料の「財務諸表」の損益計算書を見ると、営業損益が約-3,400万円であるが、営業外収益が約2,000万円計上されているようである。大きな金額であるが、この営業外収益の内容は把握しているか。

市担当者) 市から指定管理者へ支払った、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる指定管理者事業継続支援金4,663千円が入っている。それ以外の内容は、確認できていない。

加藤委員) 営業外収益が約2,000万円計上されることによって、経常損益が約-1,400万円で済んでいるので、営業外収益の内容が適正なものなのか確認し、引き続き今後の業績に注視していただきたい。

前田委員長) 先程の「原町田一丁目駐車場グループ」と同様、「5. サービスの質に関する評価」の指標2と指標3について、評価基準と目標の関係を精査してほしい。

前田委員長) 添付資料の「利用者アンケート調査チェックリスト」において、「満足度や重要度の回答は4段階となっていますか」の他、チェックのない項目が複数ある。このことは、利用者アンケート調査の精度に関わることなので、精度を上げる努力をするよう所管課からも調整してほしい。

前田委員長) 「2. 選定時の提案内容」の1つ目「文化交流・振興に向けた参画型事業の検討と実施」について、達成時期は2022年度となっている。2021年度の達成状況では、「検討した」と実施まではしていないようであるが、2022年度は実施できそうか。

市担当者) 2021年度は会議室を使用したワークショップを実施したいと検討していたが、団体への声掛けができなかった。2022年度は準備を進めており、実施できる想定である。

前田委員長) 「2. 選定時の提案内容」の3つ目「電気料金等にかかる経費の削減」について、昨今の電気料金の高騰により、電気使用量は減っているが電気料金は上がってしまうことがあると思う。このような場合、どのように評価するか。

市担当者) 指定管理者から、電気料金単価の高騰により、経費を削減するのが難しいというご意見はいただいている。全市的に指定管理者施設は同様の状況であると思うが、当施設の運営が厳しいということであれば、施設所管課としては財政的な措置を検討していかなければならないと感じている。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、利用者アンケート調査の回収率向上について、指定管理者と調整してほしいとの意見があった。また、「6. 業務履行状況の確認」の要望対応に記載されているトラブルについて、状況を精査してほしいとの意見があった。

小林委員からは、「6. 業務履行状況の確認」の地域貢献について、指定管理者の本社の取組ではなく、文化交流センターに特化した内容で評価してほしいとの意見があった。また、危機管理の各種保険への加入については、事業計画書のみ確認ではなく、証券等書類で確認をした方がよいとの意見があった。

加藤委員からは、「7. 財務・収支状況の確認」の公の施設に係る収支について、今後も引き続き指定管理者に対する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要との意見があった。また、「財務諸表」の損益計算書にある、営

業外収益が約2,000万円の内容が適正なものであるか精査してほしいとの意見があった。

私からは、「5. サービスの質に関する評価」の指標2と指標3について、評価基準と目標の関係を精査してほしい。また、利用者アンケート調査について、「利用者アンケート調査チェックリスト」にチェックが入っていない項目があるため、精度を高める努力をすることをお願いしたい。

4 「相原中央公園グループ」評価結果検証

(1) 所管課説明

所管課である公園緑地課担当者から、「相原中央公園グループ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 添付資料「利用者アンケート調査様式」を見ると、公園施設の自然や花々の項目等があるが、スタッフの対応についての項目がない。この施設は、利用者とスタッフのやりとりが発生しない施設ということなのか。スタッフの対応の項目がなくても十分であるのか確認したい。

2点目に、評価表の「5. サービスの質に関する評価」の指標3自主事業参加人数について、2020年度が4,454人、2021年度が1,324人となっており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きかった2020年度の方が、人数が多い。2021年度の結果をどのように見たらよいか教えてほしい。

市担当者) 1点目の利用者アンケート調査については、当施設が自然豊かな公園であるため、自然に関する項目が中心となっている状況である。当施設には有料の運動施設もあり、スタッフの対応はあるので、今年度から見直しを行ってきたい。

2点目の自主事業参加人数については、確かに2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったが、ミュージカルの映画上映や光のショー等大規模のイベントを実施することができたため、2500人程多くなった。対して2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、前半について自主事業の計画自体を自粛したため、人数が少なくなった。

神山委員) 1点目については、利用者アンケート調査について、スタッフ対応の項目を検討してほしい。

また、利用者アンケート調査が4段階評価ではなくあえて3段階評価となっているが、3段階評価としている背景や理由を教えてほしい。

市担当者) 2021年度の利用者アンケート調査実施にあたり、調査表作成時には「指定管理者アンケート調査の手引き」に従い4段階評価とする認識はあった。

しかし、利用者アンケート実施前の確認が漏れてしまっていた。3段階評価だと、満足度が高くなりやすいと思うので、注意していきたい。

小林委員) 添付資料の「労働条件チェックシート」の②④⑤⑨の項目の確認は、抽出して確認しているのか、それとも全数確認しているのか確認したい。

市担当者) 抽出して確認している。

小林委員) 抽出して確認しているのであれば、何人抽出したのかどのように抽出したのかを記入するようお願いしたい。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の危機管理の業務履行状況について、「災害時等の緊急時には、緊急連絡網により管理職員の参集体制が確立されていることを報告書で確認」とあるが、報告書とはどのようなものか。

市担当者) 年度の事業報告書には記載されていないが、別途、市に提出される報告書で確認している。

小林委員) 人的安定性の項目にある研修体制の確認についても同様に、事業報告書とは別の報告書で行っているのか。

市担当者) 研修についても、事業報告書とは別に報告を受けている。

前田委員長) 「6. 業務履行状況の確認」の履行状況では、「報告書で確認」という記載が多いが、事業報告書ではない報告書に記載されている項目は、他に何かあるか。

市担当者) 要望対応についても、別の報告書で提出を受けている。

小林委員) 以上3つの項目以外については事業報告書に記載されていると思うが、個別の報告書で確認したものがあれば、その旨がわかるように記載してほしい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」の収支を見ると、コロナ禍ではあるが2021年度は、2020年度より収支黒字が増加して改善しており、また財政状態についても比較的バランスがとれている。しかし、包括外部監査報告書の記載にもある通り、会計の正確性に関しては改善をすべき点も散見され、今後の改善が必要になると考える。この包括外部監査で受けた指摘の改善状況を確認したい。

市担当者) 包括外部監査の指摘内容は、計上すべきではないものが計上されていたり、収入の計上もれがあったりという内容であった。公園施設の指定管理者によって、収支決算書様式がまちまちであったこともあり、公園施設の収支決算書様式を統一する見直しをした。また、当施設については、2021年度からは市と指定管理者とで、計上すべきではない経費は計上しないことを決定して、収支決算書を作成した。

加藤委員) 公園施設の指定管理者は、株式会社やNPO法人と様々であるが、統一した様式で提出できるのか疑問に感じる。統一様式を見せてもらうことはできる

か。

市担当者) 添付資料の「収支決算書」に添付されている様式である。

加藤委員) 収支決算書は、市が財務諸表をもとに記載するのか、それとも指定管理者が記載するのか。

市担当者) 指定管理者が統一様式に記載して、市に提出するものである。

加藤委員) 新しい収支決算書様式に適切に記載されているか、財務諸表と整合性がとれているか、様式を変更した初年度はよく確認していただきたい。

近年における新型コロナ等社会、経済情勢の変化が著しく、業務及び財政状態が想定外の変動を示す可能性があるため、今後も引き続き指定管理者に対する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要である。

前田委員長) 「2. 選定時の提案内容」の1つ目に、「「あいほら型公園」の確立」と抽象的な表現で提案内容が記載されている。添付資料の「事業計画書」を見ても、同様に「「あいほら型公園」への進化5カ年計画の3年目の目標を達成する。」としか記載されていない。「あいほら型公園」の内容の核心が確認できるものはないか。

市担当者) 提案書では、具体的に何をするのかは示されていないが、自然豊かな公園であることや、市外の利用者があるという立地的な特性を生かした事業に力をいれていく主旨の内容が記載されている。

前田委員長) 「「あいほら型公園」の確立」の提案は、5年間かけて2023年度達成とされている。達成状況の欄に「緑地内への菜の花等の植栽や、地元の活動団体との連携などを行っている」という記載があるが、所管課は問題ないという認識か。

市担当者) 内容としては、自主事業を活用しているものが多く、個別の事業報告書の記載内容で、十分な報告を受けていると思っている。

前田委員長) 「6. 業務履行状況の確認」の労働条件モニタリング結果の2つの項目において、「複数の項目で不適があったが、改善策が提出されたため、2021年度は適とする」とある。改善策は、否であるものを適とするものなので、内容を確認できた方がよいと考えるが、資料の中で確認できるか。

市担当者) 資料の中にはない。

前田委員長) 否を適とするには根拠が薄いと感じる。事務局としては、同様の事象があったときはどのように対応していたのか確認したい。

事務局) 改善策については、提出様式等は定めておらず、年度内に文書にて提出することのみ定めている。確かに、改善策の提出によって否を適としているのであれば、評価委員会において改善策の内容を確認できた方がよいが、その視点がなかった。ただし、以前評価委員会でもいただいた意見を受け、改善策の

提出によって適とする運用自体、2023年度から無くす予定ではある。
前田委員長) 運用が変更される2022年度までは、委員会資料の中で改善策の内容を確認できた方がよいと感じる。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、利用者アンケート調査様式について、スタッフの対応の項目を入れることと、4段階評価とすることについて、見直しをしてほしいとの意見があった。

小林委員からは、労働条件モニタリングチェックシートの確認について、抽出の基準を明記してほしいとの意見があった。また、「6. 業務履行状況の確認」の危機管理について、事業報告書とは別の報告書で確認した場合は、明記してほしいとの意見があった。

加藤委員からは、収支状況を含め財務諸表の作成について、包括外部監査から指摘を受けているところでもあるため、今後も引き続き指定管理者に対する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要との意見があった。

私からは、利用者アンケート調査様式については、神山委員の意見と同様である。労働条件モニタリングにおいて否の項目があった場合に、年度内の改善策の提出をもって適とする場合は、どのような改善策が提出されたのか、内容を十分確認できるようにしてほしい。

5 「町田中央公園グループ」評価結果の検証

(1) 所管課説明

所管課である公園緑地課担当者から、「町田中央公園グループ」の2021年度管理運営状況評価結果を説明した。

(2) ヒアリング

神山委員) 評価表の「4. 総合評価及び所見」の指定管理者所見を見ると、「新規利用者が少なくアンケート回答数を伸ばすことも出来ず、当初アンケート用紙を200枚用意したが130枚しか配る事ができなかった」と記載がある。一方で、調査期間は1年間と長かったようであるが、計画的にアンケートを配布することが難しいということなのか。

市担当者) 年間を通して実施しているが、重複した回答とならないように新規の利用者のみに配布することが難しく、このような枚数になってしまっている。

神山委員) 逆に言うと、130人位の利用者が繰り返し利用しているということである。新規利用者を獲得しづらい施設ということなのか。例えば、7,048人いる自主事業の利用者に対し、アンケートを取ることもできるのではないかと思う。その点について、所管課としてはどのように感じているのか。

市担当者) アンケート枚数は確かに少ないため、増やしていきたいと感じている。自主事業でのアンケート配布含め、今後も指導していきたい。

神山委員) 利用者アンケート調査については、新規利用者の獲得だけではなくアンケートの取り方、さらに「普通」を含めた5段階評価となっている現在のアンケートの設計についても工夫してほしいと感じる。

小林委員) 「6. 業務履行状況の確認」の平等利用の確保等3つの項目について、履行状況の欄に、文字の誤記載があるので、修正してほしい。
また、管理経費の縮減の履行状況欄に、「2019年度と比べ」という表現があるが、前々年度である2019年度との比較でよいか確認したい。

市担当者) 2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大により施設閉鎖している時期があったため、2019年度を比較対象としている。

小林委員) あえて2019年度と比較している意図があるならば、記載してほしい。

小林委員) 相原中央公園グループと同様、添付資料の「労働条件モニタリングのチェックシート」について、抽出方法を記入するようお願いしたい。
また、「6. 業務履行状況の確認」について、事業報告書ではなく、別の報告書で確認したことを記載してほしい。

加藤委員) 「7. 財務・収支状況の確認」と添付資料「財務諸表」を見ると、2020年度、2021年度はコロナ禍における行動制限により収入が大幅減少し、収支差額は赤字となったが、世界的なパンデミックの影響による想定外の要因によるものでありやむをえないものとする。なお、財政状態については、財務安定性のバランスがとれていると認められる。

負債比率は、2020年度は147%で、2021年度は約-319%となっているが、自己資本が減ったためか。

市担当者) 吸収分割により、本体のアシックスジャパン株式会社から事業継承したことによって、自己資本が減ったためである。

加藤委員) 共同事業体のその他の構成団体である東急スポーツシステム株式会社と株式会社協栄の財務状況は健全である。しかし、代表企業であるアシックススポーツファシリティーズ株式会社は、純資産が約-1億円で、負債比率が約-319%となっている。また、営業損益が-369,372千円あり、営業外収益のうち雑収入が95,261千円ある。この雑収入には、指定管理者事業継続支援金1,617千円が含まれていると思うが、もしかしたらそれ以外の94,000千円は実態のないものが含まれており、経常利益率が多く見えているだけかもしれない。

近年における新型コロナ等社会、経済情勢の変化が著しく、業務及び財政状態が想定外の変動を示す可能性があるため、今後も引き続き指定管理者に対

する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要である。

前田委員長) 町田中央公園グループの評価表は、町田中央公園・日向山公園の一部・忠生公園の有料施設部分・木曾山崎公園の4施設の管理運営状況の評価である。

「5. サービスの質に関する評価」の指標1の添付資料である「利用者アンケート調査」を見ると、町田中央公園の体育館利用者の調査結果のみから計算しているように見える。他の3施設では、利用者アンケート調査を実施しているのか。

市担当者) 町田中央公園では他にテニスコートと球場でも利用者アンケート調査を実施しており、他の3施設でも、利用者に手渡しで調査表を渡して実施している。

前田委員長) 一方で、指標2は4施設の施設稼働率で計算している。指標2が4施設を基に計算しているのであれば、指標1も同様に4施設で計算すべきと考える。添付資料として、町田中央公園の体育館利用者の調査結果しか添付していないだけなのか、それとも、指標1の利用者満足度を町田中央公園の体育館利用者だけで計算しているということなのか。

市担当者) 町田中央公園の体育館利用者の調査結果で計算してしまっており、他の3施設のアンケートが含まれていない可能性がある。他の施設は回答がなかったのか、あるいは他の3施設でも町田中央公園の体育館利用者のアンケート様式を利用しているのか確認不足であったので、実態を確認していきたい。

前田委員長) 利用者アンケート調査が5段階評価となっている点については、神山委員の意見と同様である。

(3) 委員長総括

前田委員長)

神山委員からは、「利用者アンケート調査」について、新規利用者の獲得の工夫としてほしいとの意見があった。また、5段階評価ではなく4段階評価とするよう意見があった。

小林委員からは、「6. 業務履行状況の確認」の履行状況の欄について、数か所文言が不適切であるので、精査して修正してほしいとの意見があった。また、事業報告書以外の報告書で確認した場合については、履行状況欄に具体的に記載してほしいとの意見があった。労働条件モニタリングチェックシートの確認について、抽出している場合は人数や抽出している根拠を記載してほしい。

加藤委員からは、代表企業の損益計算書に記載されている雑収入の内訳を確認する等、今後も引き続き指定管理者に対する十分な財務分析とコミュニケーションにより財務状況を注視することが必要との意見があった。

私からは、神山委員と同様、利用者アンケート調査が5段階評価になっている点と、利用者アンケート調査が町田中央公園の体育館利用者のみとなっていることについて、改善をお願いしたい。

6 閉 会